

「賃上げがあたりまえの社会」を実現する正念場！

2026春季生活闘争

ヤマ場の回答引き出し状況に対する芳野中央闘争委員長コメント

2026年3月19日
日本労働組合総連合会

1. 幅広い産業で要求の趣旨に沿った回答が進む

私たち連合は、2026春季生活闘争において、実質賃金の持続的な上昇を伴う“賃上げノルム”の確立をめざして、全体では5%以上、中小組合は6%以上、雇用形態間格差の是正に向けては7%の賃上げ目標を掲げ、概ね方針通りの要求状況となった。

先行組合回答引き出しのヤマ場（3月17～19日）に向けて、「要求の趣旨に沿った最大限の回答引き出しに全力をあげる」とともに、「総力をあげて、後に続く組合の交渉環境を支える。同時に労働組合のない企業の賃上げに向けた世論醸成に取り組む」ことを確認し交渉を進めた。その結果、幅広い産業の労働組合が要求の趣旨に沿った回答を引き出した。

2. 生活向上と格差是正にこだわり、「賃上げがあたりまえの社会」をつくろう

現時点までに示された回答は、産業による違いはあるものの、多くの組合で、昨年に引き続き高い水準の賃上げを獲得している。労使が、「賃上げがあたりまえの社会」を実現する正念場であるとの共通認識のもと、組合員の生活の安心・安定と企業の持続的成長、日本全体の生産性向上につながる「人への投資」の重要性について、粘り強く真摯に交渉した結果である。

有期・短時間・契約等労働者の賃上げ結果も昨年を上回り、格差是正に向けて前進できる内容と受け止める。

先行組合が引き出した回答内容を中小組合、さらには組合のない職場へと波及させていくことで、すべての働く者の生活向上につなげていかなければならない。

3. 持続的な賃上げの流れを社会全体へ広げよう

先行組合が引き出した回答は、総じて後に続く組合の交渉を力強く後押しするものである。各組合は、3月5日の確認事項にもとづき、要求の趣旨に沿った最大限の回答を引き出すべく、最後の最後まで粘り強く交渉していただきたい。組合員の期待に応え、結果にこだわることで、社会全体に仲間の輪を広げていこう。

連合は、引き続き、要求を掲げたすべての組合の早期解決と最大限の回答引き出しにむけて、構成組織・地方連合会と一体となってサポートしていく。

以 上